



第 47 卷 総 目 次

昭和 39 (1964) 年

【論説】

原文に忠実な魏志倭人伝の解説……………牧 健 二二一（一）

古代僧官考……………田 村 円 澄…一（四三）

魏晋南北朝告身雜考……………大 庭 脩…一（六八）

ケンギル都市同盟について……………中原与茂九郎…一（九三）

ウイットセンの北東アジア地図をめぐる二三の問題……………船 越 昭 生…一（一一二）

徂徠学の形成と中国思想……………今 中 寛 司…二（一六七）

北宋時代の布帛と財政問題……………梅 原 郁…二（一一二）

ビザンツにおける「条件的土地保有」……………米 田 治 泰…二（二四九）

ディズレーリの保守主義……………村 岡 健 次…二（二七九）

法体制再編期における「家」制度と勤労者の家族……………藤 原 怜 子…三（三三三）

日中の畿内制度……………曾 我 部 静 雄…三（三六七）

ハルパロス研究序説……………永 井 康 視…三（三九一）

朱思本の輿地図について……………海 野 一 隆…三（四一六）

中世大和における商品経済の発展……………脇 田 晴 子…四（四八一）

北魏世宗宣武帝の考課と考格……………^{故福}西 村 繁 元 次 佑…四（五三一）

アングロ・サクソン期の *gent* について……………富 沢 靈 岸…四（五五五）

平安初期の官人と律令政治の変質……………佐 藤 宗 諄…五（六三一）

抱朴子の世界(上・下)……………吉川 忠 夫…五(六六六)

日本の仏殿における建築空間の特性……………浅野 清…五(六九七)

日本啓蒙主義の凋落……………ひろたまさき…六(七七五)

チューリンゲンにおける集落とガウ・教区・封建領域について……………水津 一 朗…六(八四一)

【研究ノート】

東寺供僧供料荘における年貢收取体系の発展と停滞……………網野 善 彦…三(四四一)

安陽考古概観……………石 璋 如…四(五八三)

ドイツ政党組織の史的考察(上・下)……………飯田収治・中村幹雄…五(七二〇)

【批判と反省】

古代東北の地域中心研究の近業によせて……………新野 直 吉…三(四六八)

歴史の効用について……………植 村 雅 彦…五(七四七)

【書評】

堀江英一編「幕末・維新の農業構造」……………津 田 秀 夫…一(一四二)

野間三郎著「地理学のあゆみ」「近代地理学の潮流」……………松 田 信…一(一四八)

岩橋小弥太著「上代史籍の研究」「同第二集」「上代官職制度の研究」……………中 村 敏 勝…二(三二四)

D. P. Singhal, India and Afghanistan, A Study in Diplomatic Relations 1876-1907……………勝 藤 猛…二(三一九)

田村実造編「明代滿蒙史研究」……………山田信夫…五(七六二)
 安田元久編「初期封建制の研究」……………上横手雅敬…六(九〇七)

【紹介】

「光厳天皇遺芳」……………六(九一四)
 広島大学寄託「加計隅屋文庫目録」第一卷……………六(九一五)
 「豊中市史」……………六(九一六)
 「竹原市史」第二卷論説篇……………六(九一九)

会報(一五四・三三四・四七五・六一九・七六八)
 学界消息(一五四・三二五・四七四・六二一)